奥泉　淳広　議員（日本維新の会）

小型車サイズの町役場駐車場の区画拡張を

町長　来庁者、混雑状況を参考に幅員を決定した

質問　町役場の駐車ますは狭く、小型車規格となっている。普通車やミニバンが並んで駐車すると乗降が難しい。乳幼児、高齢者の乗り降り、手荷物の出し入れは実に困難である。「国土交通省駐車場設計・施工指針について」に照らすと羽村市は小型車プラスアルファ、福生市は普通車の幅を確保しているが、新しく建設された瑞穂町役場は設計対象車両「小型車」の原則幅員2・3m以上の「最低限」の幅員しかない。改善を望むが、所見を伺う。

町長　新庁舎建設の際、面積の関係もあり、来庁者、混雑状況を参考に幅員2・3mで整備した。西多摩地域の中でも軽自動車の保有台数は、町が最も高い状況を考えあわせなければならない。区画線の見直しは、来庁の際および役所内に移動する際、人の動線上危険になる場合もある。今後、できる限り各種申請を役場に来なくても済ませることができるように、手続きのデジタル化を進めている。

役場駐車場

こんな質問もありました

「みずほまる」を活用したお土産の企画開発を

町長　キャラクター使用申請は1月末で91件あり、各種団体で商品が制作、販売されている状況である。

要望活動　東京都とJRへ要望書を提出　交通対策特別委員会

12月12日、交通対策特別委員会では多摩都市モノレール、JR八高線に関する要望内容について協議しました。その後、町と町議会合同で要望活動を行いました。

【都知事への主な要望内容（1月22日提出）】

多摩都市モノレールについて

箱根ケ崎方面延伸の早期実現

東京都への要望活動の様子

【JR東日本八王子支社長などへの主な要望内容（2月2日提出）】

JR八高線について

①朝夕のラッシュ時および24時台において、より一層の利便性向上
②東京方面直通電車の再開
③拝島駅での乗り継ぎ時間の見直し
④駅員の無人時間帯の見直し
⑤新駅の設置（2か所）
⑥複線化計画の早期実現
⑦地方交通線から幹線への昇格（運賃格差の是正）
⑧ホームドアまたは可動式ホーム柵を整備

左から　栗原副町長、森副議長、香取委員長、宇野八王子支社企画部長

～議員と話そう～

みずほ まちなか会議を開催しました！

町民の皆さまから活発な意見！

1月20日㈯に長岡コミュニティセンターで「みずほ まちなか会議」を開催しました。テーマは、総務産業建設分野が「地域コミュニティを考える～災害時など、求められるその役割は～」、厚生文教分野が「多世代間交流について～世代を超えて楽しめる場を考えよう～」です。10代から70代、合わせて20名の方が参加して二班に分かれ話し合いました。主な意見をご紹介いたします。

総務産業建設分野　午前10時から

【地域コミュニティを考える～災害時など、求められるその役割は～】

- 楽しいイベントや行事など、役員の皆さんが工夫しているけど、町内会の加入率が減少している。
- 若い人たちが興味を持ってくれるためには…ＳＮＳとかを活用して町内会が何をしているかを発信してほしい。
- 町内会だけではなく、他団体とのつながりも大切だと思う。
- コーディネーターを行政が担ってくれるといいかも。
- 顔が分かるって、いざという時にはすごく役立つと思う。普段からコミュニケーションをとることが大切だと思う。
- 町内会もデジタル化して役員の負担を減らせないかな。

厚生文教分野　午後1時30分から

【多世代間交流について～世代を超えて楽しめる場を考えよう～】

- どの世代でも楽しめる体験型のイベントがあるといいかも。
- ｅスポーツとかボッチャやモルックなど面白いと思う。
- みんなで作った野菜で季節の料理作りなんかも楽しそう。うどんやそばもありかな。
- 老人会と子ども会とか、町で活動しているいろいろな団体とコラボしてみるといいかもね。
- 楽しいイベントはＳＮＳなどを活用して、どんどん発信していくと多世代の輪が広がっていくと思う。
- ここに来ればいつでも何か楽しめるってみんなが思える場所をみんなで作っていきたいですね。

活発なご意見ありがとうございました。皆さまからの意見を参考に、さらに所管の委員会で議論を深めてまいります。